

プロフィール 荒瀬 克己氏

顧問などを務めている。

1953年生まれ。京都教育大学卒業。京都市立 堀川高校長、京都市教育委員会教育企画監を 経て、2014年4月から大谷大学文学部教授。

中央教育審議会委員、独立行政法人国立高等 専門学校機構監事や京都市教育委員会指導部

学校法人 大阪初芝学園

【発行】大阪初芝学園 教学部 http://www.hatsushiba.ed.jp 〒599-8125 大阪府堺市東区西野194-1 TEL:072-239-5551 FAX:072-235-6665

[2014.10.23] 第008号

大阪初芝学園

特別公開講座2014

講 基 演

上上できる18歳を育てるために 子どもたちが、これからのグローバル社会で活躍するには、自ら考え、創造していく力が欠かせません。 中高一貫教育が目指すもの

その後、学園小中高の校長との座談会を行いました。

▼子どもの小さな疑問に寄り添う

ゴベスプッチ」の存在など、様々なことが分かってきた だそうです。そこで、先生が一緒に調べると、「アメリ リカ大陸発見はコロンブスではないように聞いたから という言葉を入れた小学生がいました。理由は、アメ ンブスを入れるところを、後の空欄に「すごいこと」 ある」。この問題の空欄にはそれぞれアメリカとコロ 1492年に |大陸を発見したのは||__で

体験を言語化できる共通する類型があります。 ます。しかし、その体験を言葉にすると、経験値と を考え、自分で自分を律することにつながります。自 なって残ります。志望校に合格する生徒は、自分の 体験を言語化すると、なぜ、自分はそう思ったのか

グローバル社会に生きるということ

要かをあらためて考えなければなりません。 るのが実社会だと考えると、子どもにどんな力が必 のと心に刻まれてしまいます。

正解がないところからあらたなチャンスが生まれ

付いてやらないと、その疑問は無用なもの、無駄なも らず、保護者の方も子どものちょっとした疑問に気 大切にされていないのではないでしょうか。教師に限 で、疑問をもった子どもに寄り添う丁寧さが、最近 習をするための共通の決まり事もあります。その中

い。一筋縄ではいかないグローバル社会は、学校も職場 と「それぞれの存在に即した対応」は大切だが難し の有名な言葉がありますが、正直な気持ちは、平田 も同じです。子どもたちはその中で試行錯誤しなが きていくことです。「それぞれの存在を認めること」 受け入れ乗り越えていくのかがグローバル社会を生 違うということは、現実には避けられず、それをどう オリザ氏の「みんなちがって、たいへんだ」です。みんな ら成長します 「みんなちがって、みんないい」という金子みすゞ氏

か、つまり、かっこいい大人を見せているかということ

育では大切で、社会はその働くモデルを見せている

ての生活を含みます。モデルを示すことがキャリア教

キャリアとは、「働くこと」「生きていくこと」すべ

「グローバル・コミュニケーション・スキル」は、英語力

体験を言語化する

記憶」ですが、時間と共に忘れます。一方、体験など 記憶」も必要ですが、自立していく上では「長期的記 があります。テストのために覚える記憶は、「短期的 きなどに影響を与えます。生きていく上で一短期的 による一長期的記憶」は、考え方や身のこなし、心向 人間の記憶には、「長期的記憶」と「短期的記憶」

様々な体験は、時間とともに記憶から薄れていき

憶」が最も大切です。

学校は一定のスピードで進む必要や、効率的な学

立を促すきっかけとして、家庭でも子どもたちが体験 できる環境をつくることが大切です。

かっこいい大人を見せること

ます。我々はこれだけ多くの働かない若者を生んだ大 人として、反省しないといけません。 校あたり2人の無業者を卒業させている計算になり 数で、単純に全国の高校の数から換算すると、毎年 213万人。この数は無業者の若者(19~3)歳)の

とうございました。 こと、不安なこと、複雑なことを体験させ、子どもが 成長していく様子を見守ってあげる。それができる 大人がかっこいいのではないでしょうか。ご清聴ありが 大人に守られている子どもの間に、少し危険な

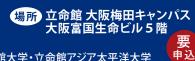
今回はその視点から特別公開講座を開催いたしました。基調講演に荒瀬克己氏をお招きし、 の間で妥協点(一致点)を見出す力です。 係形成能力)です。異なる背景をもつ個人や、組織 ではなく、異文化理解能力(合意形成能力・人間関 ◎ 大阪初芝学園 特別公開講座 2014

わらない」という想像を超えたグローバル社会で将来 と、子どもたちの言葉を奪い取ってしまいます。「伝 験が必要です。その芽を摘んでしまうような愛情の 生きていくためにも、子どもたちは不便を感じる経 う思いが生まれます。親が、提案型の問いかけをする と感じる経験が必要です。そこから「伝えたい」とい かけかたには気を付けなければなりません。 コミュニケーション能力を養うには、「伝わらない」

R 初 館 芝 立 X 命

説明会

1 日時 **/日** 19:30 18:00



主催:大阪初芝学園

協力:立命館大学・立命館アジア太平洋大学



2015年 4月開設

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

※パースは2013年11月の検討段階のものです。

特別公開講座2014 校長座談会

自立できる18歳を 育てるために

~中高一貫教育が目指すもの~

材の育成に向けて、沢山の連携プログラ けではなく、グローバル人材、理数系人す。提携と言っても単に推薦枠があるだ けではなく、グロー ジア太平洋大学との提携があることで

来年度から中学に、新しくア

数精鋭で難関国公立・医歯薬系大学合 ト立命館コースをつくり、中高一貫の少

坂本校長(初芝富田林中高)

通過点ではなく、二度とない彩り豊かな とって、学校生活が大学進学への単なる 以来、今年で31年目になります。生徒に ものに充実させることに全力を注いでい

6万㎡におよぶ自然豊かな学習環境



それではまず、先生方から各学 め細やかなサポ

紹介をお願いいたします

中学・高校のそれぞれコースを改編

すべてにおいてきめ細やかな指導を行っ し、学校を改革しました。 本校の教職員は熱心で、学習・生活面

本校の特徴は、立命館大学、立命館で

など、文武両道の学校です 校野球も和歌山県の新人戦で優勝する ハイに多くのクラブが出場しました。高 ています。クラブ活動も盛んで、インタ

ゼミを開講し、授業の中で対策を行って なかたちで進学が可能であるというこ います。さらに、希望者を対象とした放 とです。そのサポ

一つ目は、人づくりとして先を見通し

章講座の添削をされているのには感心忙しい中で自校の先生方が日本語文

間にとっては年齢ごとに自立することが

永遠のテーマではないかと考えています

家庭を築くことも、全て自立であり ことができるようになるのも、進学も、 た。添削は本校の教員が行っています。高1で日本語文章講座を開講しま

ています。赤ちゃんがハイハイ

っるように

なるのも、泣きながら幼稚園バスに乗る

もすべて子どもが自立するためだと思っ

親としての子育ても、教員の教育活動

自立につながる取り組み

ちが、夢と希望を持つて大学進学を目のプロセスだと考えています。子どもた

大学受験というのも自立に向けた一つ

自ら計画し実行することが、将来自立 指す。自らの目標を現実化するために、

もたちを良い方向に導く魔法の

したが、自立につながっていると思われる

あります。また、あらゆる教員によるきと31年間築き上げてきた学びの文化が

各校の特色と魅力

取り組みや、自立についてご

り組みや、自立についてご自身のお

ない、その効果が分からないということける天才で、今までそんなことをやってい

学校というのは、やらないことを見つ

課後学習指導も実施しています。 特徴の一つ目として、3中学校へ有利・山校長(はつしば学園小) として、進学対策

朝読や1週間のスケジュー

帳に書

具体的な取り組みとして、10分間の

かせています。さらに今年度から、中ー

事だと考えています。

付け、時代の変化に対応できることが大

人間は人との関わりの中で生きてお

しての資質やスキルを身に

という意識は大切です。大学受験を受にはでなくても、とりあえずやってみる

作り続けないといけません。結果はすぐ をあえて選んでいる。組織というものは いう発想をもっている。楽をせず、 が多い。しかし、とにかくやってみようと

験としてとらえていないところが素晴ら

を活かして学び合い、お互いを高め合う 学習を行っています。子どもたちの違い ろばんなどの集中力を養う右脳教育に た教育の取り組みをしています。百玉そ 取り組みによって、より理解を深めるこ 組んでいます。そして、グループペア

髙橋克夫

初芝立命館中学校·高等学校 校長

な仕掛けを行っています。

たちのやる気を引き起こすための色々い方向に導けるかを常に腐心し、子ども言などはありません。何がきっかけで良

本校は昭和5年に進学校として開校

ではカリキュラムの連続性も含めて考えるようにしていきたい。そのために本校おり、それを継続しさらに伸ばしていけ 学園小学校は英語教育に力を入れて

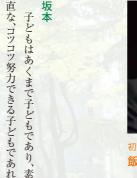
間はかかるが非常に効果的な取り組みなり力が付くのではないでしょうか。手

に感じました。

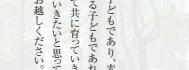
ていこうと取り組んでいるところです。



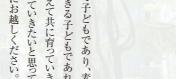


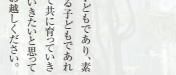


たい、その手助けをしていきたいと思ってば、教職員と手を携えて共に育っていき おります。是非本校にお越しください。













かなり議論が交わされています。 乗り越えていくかというところで

布し、繰り返し読み、漢字かな交じりのムを全部ひらがなで表記した文章を配

や知識の幅が広がります。また、豊富な

選ぶことにより、より一層社会的な視野

語彙・読解力を養うために、新聞のコラ

考え方を発見していきます。それが自で交流しながら助け合い、学び合っていて交流しながら助け合い、学び合っています。そこから、それぞれのものの見方、

坂本

で印象に残った箇所にアンダ

生徒に配布。それを放課後までに読ん 各教員が選んだ新聞記事から一つ、毎朝 聞記事を読む取り組みを行っていまっ

自分の進路を考えるために、毎日、

ています。さらに、理科教育・国際教育的組み、学習・生活面での自立を目指し教育・幅広い体験学習・しつけ教育に取

基本的な学びとして、基礎学力・英語

を充実させ、中でも英語教育を積極的

記述をし、提出

します。いろんな教員が

士の子どもたちが、協力しながら学んで各学年を交えた活動を通して異年齢同

校では、噛みあわない部分が多い。それ級担任制の小学校と教科担任制の中学

て本ではできない、目の前の子どもとの

を目指しています。
え、チャレンジできるような環境づくり 生徒の自主性を尊重し、自分たちで考 レンジし、進学実績も伸ばしています。

りは担任と児童でしか作れないのと同 子育ては自分でしか作れない。学級づく

の熱い思いや個性が随分と発揮され、

唆に富んだ内容となりました。それぞ

動をしています。学校全体での遠足や

6年生までの縦割りの活

そもそも、小学校の先生と中学校の先

生とは考え方に大きな違いがあり、学

ギャップを乗り越えていくためにはどう

ればよいかを色々と考えられている。

最後に一言

ルコースの生徒たちは高い

志を持つてチャ

るグローバルコースがあります。グロー

高校には立命館コースと切磋琢磨す

京都の小中一貫校でも、学校段階での

化に溶け込むのも早い気がします。入学学園の風土文化に慣れていて、本校の文 後も学校の中心となり活躍しています。 やはり、内部進学で入学 した生徒は いと思います。私たちも子どもたちを信方法を編み出していかなければ、育たな じて一歩一歩進んで参り

しています。自分にピッタリな生き方がを引き出すために様々な仕掛けを用意 どで、思い悩み反発もする時期です。何 見つけられると思います。恐れずに一歩 期ではあるが、心の成長はなかなかう ものがあると思います。本校でもやる気 には、何かに打ち込むことで見えてくる をやったらいいかわ くいかない。自我と社会規範との軋轢な 中学時代は、外見は大人びてくる からないという生徒

字かな交じりに変換するというのは、か

荒瀬 克己氏

員会を発足させ、現場活動を通じて生げていけるのではないかと思っており、委

ら、小中の取り組みを積極的に全国へ発がある大阪初芝学園の校長先生方かれます。とにかくやってみるという意志

えた改革がますます進んでいくと思わ

本の教育は、従来の学校制度を越

理科・国際教育を中心に中学とつな

ます。学園の小中連携に向けたお考え

持たせるために色々な仕掛けをされてい て、子ども同士、つなぐこと、かかわりを中学校にどうつなげていくかも含め

があるので、中・

ーギャップというのは回避

小学校と中学校とは入学前より交流

できているのはないかと思い

られる。特に、ひらがな表記のコラムを漢

自立の支援に、新聞を上手く使ってお

小中連携へ向けて





はつしば学園幼稚園



春の遠足

本園では、自然とのふれ合いを大切に、保育を行っております。そのため、毎年、春の遠足は、和泉体験農園『農の里』にいちご狩りに出かけています。幼稚園に大きな学園バスがやってくると、子どもたちは目を輝かせながら乗り込み、甘い苺に期待を寄せながら出発しました。先生やお友達とレクリエーションを楽しみ、あっという間に農園に到着。農園の方に苺の摘み方や品種などのお話をしていただき、いよいよいちご狩りのスタートです。子ども達の小さな手には驚くほどの大きな苺。

口の周りを真っ赤に染めながら、とびきりの笑顔でほおばっていきます。甘酸っぱい実とさわやかな香りを堪能してきました。 又、花から実を付け熟していく苺の色の変化や、葉っぱの形、花粉を運ぶミツバチの存在など、沢山の発見と学びがあり、良い収穫体験となりました。

避難訓練

9月に消防署の立会いのもと、地震と火災を想定した避難訓練を行いました。地震が起こった時、机の下に身を隠すこと、防災頭巾を被ることで安全を確保します。その後の火災発生のサイレンでは、先生の指示に従い、速やかに園舎の外に避難開始。避難する際の約束『おはしも(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)』をしっかり守り、慌てることなく訓練に参加できました。



消防署の方から訓練の総評を頂き、その後は消防車の見学です。本物の消防車を前に、ホースやメーターなどの機器に興味津々の子ども達は、積極的に質問をし、感心していました。

又、DVD教材を鑑賞し、地震・火災時どう行動すればよいか、『命を守る』ことについて真剣に考え、防災意識が高まりました。本園では、今後も安全・安心の確保を目指した取り組みを進めて参ります。

初芝スイミングスクール



活躍するスクール生たち

選手コースで日々トレーニングを行っている選手が今年の大阪、近畿、全国の舞台で活躍しています。今年度は昨年度以上の選手が近畿中学校水泳競技大会、全国中学校水泳競技大会、日本高校選手権水泳競技大会、日本学生選手権水泳競技大会、全国JOCジュニアオリンピック夏季大会、国民体育大会などに出場し、入賞しています。また、10月に行われる全国ブロック対抗水泳競技大会に近畿ブロック代表選手として、初芝立命館中学校2年生の安芸君を含む2名が選出されています。

定期コースでは、今年も6月1か月体験、7月夏休み短期教室を行い、2歳以上の幼児を含む初心者への指導も行っています。これからも多くの笑顔を見れるようなイベントや行事を展開していく予定です。



たに生まれかわります。少数精鋭で、難関国公立大学、医歯薬系大学 進学を目指す「アドバンスト立命館コース」、立命館大学・立命館アジア 太平洋大学で創造的な学びができる力を養う「立命館コース」、個性に 応じて進学選択に幅をもたせた「セレクト・アカデメイアコース」の3つの コースとなります。

詳しくは初芝立命館中学校HPをご覧ください。

http://www.hatsushiba.ed.jp/ritsumeikan/jh/

初芝富田林中学校高等学校、初芝橋本中学校高等学校 平成27年度からスクールバスの新ルート開設!

平成27年度から、初芝富田林は金剛ルート(南海高野線金剛駅)、初芝橋本は岩出ルート (JR和歌山線岩出駅前)を、新たに運行いたします。学校までの直通バスで、アクセスがより 便利で快適な通学ができるようになります。詳細は、各校HPをご覧ください。



初芝富田林中学校高等学校HP

http://www.hatsushiba.ed.jp/tondabayashi/



初芝橋本中学校高等学校HP

http://www.hatsushiba.ed.jp/hatsuhashi/

平成27年度 大阪初芝学園 入試スケジュール

	高等学校			中学校			小学校
	初芝立命館 高等学校	初芝富田林 高等学校	初芝橋本 高等学校	初芝立命館 中学校	初芝富田林 中学校	初芝橋本 中学校	はつしば学園 小学校
入試説明会	平成26年 12月6日(土) 14:00	平成26年10月25日(土) 14:00 平成26年11月29日(土)	平成26年 11月8日(土) 14:00	平成26年 11月29日(土)14:00 (プレテスト個別相談会)	平成26年11月1日(土) (プレテスト個別相談会) ※要申込	平成26年 11月8日(土) 9:00	第1回入試説明会 ·授業体験 平成27年 3月21日(土) 10:00
個別相談会個別見学会		14:00 平成26年12月13日(土) (個別見学会)※要申込	平成26年 11月30日(日) 14:00	平成26年 12月13日(土) 14:00(個別相談会)	平成26年11月22日(土) (個別見学会) ※要申込	平成26年 11月30日(日) 14:00	
入試日	平成27年 2月10日(火)	平成27年 2月10日(火)	【A日程】 平成27年 1月31日(土)	【A日程】平成27年 1月17日(土)午前 ※一般入試・きらめき入試	【一次A】 平成27年 1月17日(土)午前	【A1日程】 平成27年 1月17日(土)午前 【A2日程】 平成27年 1月18日(日)午後 【B日程】 平成27年 1月20日(火)午前	【2次·転入学1次】 平成26年 11月8日(土)
				【B日程】 平成27年 1月17日(土)午後	【一次B】 平成27年 1月17日(土)午後		[転入学2次] 平成27年 1月31日(土) ※2月以降随時 [3次] 平成27年 2月3日(火)
			【 <mark>B日程】</mark> 平成27年 2月14日(土)	【C日程】 平成27年 1月18日(日)午後	【III類選抜】平成27年 1月18日(日)午後 ※III類のみ		
				【D日程】平成27年 1月31日(土)午前 ※きらめき入試	【二次】 平成27年 1月19日(月)午前		



第8号をお届けいたします。今回は先日行われました大阪初芝学園 特別公開講座2014「自立できる18歳を育てるために〜中高一貫教育が目指すもの〜」の荒瀬克己氏の講演と本学園の各校長による座談会を特集記事にいたしました。自ら考え行動する、自立した人間に子どもたちを育てるにはどうすればよいか、という視点で、荒瀬氏の示唆に富んだお話や各校での自立に向けた取組みを紹介いたしました。